

「新たな体験活動」モデル事業実績報告書

施設名 茨城県立さしま少年自然の家

<p>事業の名称 (テーマ)</p>	<p>「新たな体験活動」モデル事業 YouTubeで地元の魅力発信キャンプ ～わたしが！？ ぼくが！？ 未来のまちをプロデュース～</p>
<p>事業の目的</p>	<p>さしま少年自然の家を基点に、共同宿泊体験をとおして人間関係を築いたり、防災意識を高めたりする術を学ぶとともに、さしま少年自然の家や、住んでいる町(境町)の魅力や特徴を探究し、自ら発信できるようにする。 その過程から、課題を見出し、仲間と協力しながら自ら考え行動し、課題を解決していける人財を育成する。</p>
<p>事業の内容・ 方法</p>	<p>1 期 日 1回目 令和5年7月23日(日)～24日(月) (参加者14人) 2回目 令和5年8月10日(木)～11日(金) (参加者14人) 3回目 令和5年9月2日(土)～3日(日) (参加者14人)</p> <p>2 参加対象 小学校5年生～中学2年生 20名程度</p> <p>3 参加費 4,500円(1人あたりで3回分)</p> <p>4 内 容 (1回目:課題設定(実践準備)) ・さしま少年自然の家での体験活動の実践(人間関係作り、野営、野外炊飯等) ・課題設定や課題解決方法の理解と情報リテラシー高揚 (講話やVTR視聴、情報収集方法、使用端末の扱い方(動画の撮影・編集方法等)) ・身近な自然や自分が暮らす町(境町)の魅力や特徴を探究し、課題を設定 ・フィールドワークの計画・準備(概略) (2回目:課題解決(実践)) ・課題解決のための計画立案、検討(詳細) ・フィールドワーク実践(町に出て取材や動画撮影、体験活動等) ・フィールドワークのまとめと評価・検証 ・さしま少年自然の家での体験活動の実践(舎営、防災意識の高揚等) (3回目:アウトプット(実践まとめ)) ・課題解決のまとめ(動画等編集、発表の役割分担、リハーサル(中間発表)等) ・さしま少年自然の家での体験活動の実践(舎営、キャンプファイヤー、振り返り等) ・成果発表(1グループ5分程度)</p> <p>5 方 法 ・人間関係作りでASEを導入した。 ・自然体験でテント設営、野営、テント撤営を実施した。 ・フィールドワークでは、レンタカーを用意し取材に出かけた。 ・ipadにて静止画や動画を撮影し、iMovieソフト活用して編集技術を身に付けた。 ・iMovieを活用して発表した。</p>
<p>成 果</p>	<p>・共同宿泊体験や、共同調理体験等とおして、望ましい人間関係作りを構築したり、防災意識を高めたりすることができた。 ・個々(グループ)の能力に応じた課題をもち、解決のための道筋を考え実行することができた。 ・参加者全員が、動画編集ソフトiMovieの操作技術を体得することができた。 ・リハーサル(中間発表)にて相互評価し合い、発表のブラッシュアップができた。</p>

様式第4号

事業報告書(1日毎)

(施設 茨城県立さしま少年自然の家)

期 日	令和5年7月23日(日)																
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入				受は 付じ まE りの 会	A S E		テ ン ト 設 営	講 義 集 (撮 影 ・ 編)	撮 影 ・ 編 集								動 画 編 集
事業トピックス	※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等																
・人間関係作り	<p>初めて会った小中学生が、望ましい人間関係を構築するための手段としてASE活動を取り入れた。参加者は2グループに分かれて、課題をクリアするために意見を交換し合い、積極的にかかわりをもった。多くの笑顔が見られ、気持ちのいいスタートが切れた。</p>																
・テント設営と動画撮影	<p>初日は野営のため、テントを組み立てた。その際、各グループにipadを渡し、組み立ての様子を撮影練習を兼ねて行った。</p> <p>初めてテントを組み立てる子供たちは、とても興味深く歓声をあげながら取り組んでいた。</p>																
・iMovieの操作方法(編集)について	<p>イラストレーターの三浦沙織氏を迎え、iMovieの操作方法と編集についての話を聞いた。</p> <p>子供たちは、iMovieの操作及び編集技術をどんどん身に付け、短時間で動画を編集して楽しんでいた。</p>																
成果と課題	<p>○ASEに取り組んだことで、円滑に活動を進めることができた。</p> <p>○iMovieの編集技術を身に付けられた。</p> <p>○著作権や肖像権についても学ぶ機会を得られた。</p>																



様式第4号

事業報告書(1日毎)

(施設 茨城県立さしま少年自然の家)



期 日	令和5年7月24日(月)																	
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
※主な活動内容や場所等を記入				講義 (境町について)	課題 検討①	防災 食体験			課題 検討②									解散
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等																		
<ul style="list-style-type: none"> ・講義「境町について」 境町のPR映像を視聴し、境町の各種取組を理解した。講義では、町の魅力を「教育」「スポーツ」、「食」、「観光」、「レジャー」に分け、そこからテーマを見出し出していけるよう図った。 ・境町PR映像について 境町のPR映像を、2つの側面から見るよう促した。1つ目は、町の取組について、2つ目は、撮影で工夫している点(アングル、インタビューの仕方等について)の視点であった。 ・防災意識をもつために 2日目の昼食は、防災について考えるために、防災食作りに取り組んだ。 かまどでお湯を沸かし、非常用ごはんを炊き、レトルトカレーを温めて食べた。 質素な昼食となったが、災害に役立つノウハウを得ることができた。 																		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○PR映像により、境町の取組について理解が深められた。 ○PR映像により、撮影時のポイントを明確にすることができた。 ○防災食をとおして、防災に関して意識をもつことができた。 																	



様式第4号

事業報告書(1日毎)

(施設 茨城県立さしま少年自然の家)

期 日	令和5年8月10日(木)																
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入				受は	課		課			野					動		
				付	じ		題			外					画		
				ま	の		の			カ					編		
				り	練		練			レ					集		
				の	上		上			飯							
				会	げ		げ										
				①			②			作							
										り							
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等																	
<p>・境町の施設を再確認</p> <p>境町は、健康の保持増進のため、各種運動施設を設置したり、観光を盛り上げるためにカフェや道の駅を充実させたりしていることを再確認し、フィールドワークのねらいを明確にした。</p> <p>・フィールドワークの計画立案、検討</p> <p>フィールドワークのために、るるぶ境町を活用したり、インターネット検索をしたりして、訪問先の場所や訪問順序等を入念に計画した。</p> <p>インタビューをする際に、誰が何を聞くか、誰がどのように撮影するか、声の大きさはどうか等の細かいところまで、確認し合った。</p> <p>他のグループの人との、情報交換や、計画の比較をとおした相互の様子から、全体的に子供たちが成熟していることが窺えた。</p>																	
  																	
成果と課題	<p>○インターネットでの情報取得や、るるぶ境町の活用により、各グループの計画がスムーズに立てられた。</p> <p>○子供たちがICT端末(ipad)を積極的に活用しながら、主体的に課題解決取り組む姿勢が随所に見られた。</p>																

様式第4号

事業報告書(1日毎)

〈施設 茨城県立さしま少年自然の家〉

期 日	令和5年8月11日(金)																
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入				フク イ開 始 ル ド ワ 					フク解 イ終散 了 ル ド ワ 								
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等																	
<p>・境町高校生ボランティアの協力を得て</p> <p>境町高校生ボランティア「クローバー」の皆さんの協力を得て、フィールドワークの計画のアドバイスや、フィールドワークの伴走をしていただいた。どの生徒も、小中学生に温かく接してくれて、信頼のおける存在であった。</p> <p>・フィールドワークの実際</p> <p>このキャンプの要となるフィールドワークに出かけた。各グループ3～4か所の訪問場所を巡った。</p> <p>子供たちは、事前に計画したことをもとに、とてもスムーズにインタビューや撮影を進めていくことができた。</p> <p>訪問先施設の魅力や1日の利用者数、当該施設が境町にどのようにかかわっているのか等、深く真剣に質問していた。</p> <p>取材を終えると、きちんとあいさつをして訪問先を後にすることができた。</p> <p>とても充実した1日が終わった。</p>																	
成果と課題	<p>○ボランティアとして参加してくれた高校生が、小中学生に対して温かく、親身になってかわりをもってくれたことで、子供たちは、安心してフィールドワークに臨めた。</p> <p>○子供たちは、町で働く人と接することで、自分の住む町のよさをより理解することができていた。</p>																



様式第4号

事業報告書(1日毎)

(施設 茨城県立さしま少年自然の家)

期 日	令和5年9月2日(土)																
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入					受は動発	動発					野メ		キ				最
					付じ画表	画表					外ス		ヤ				終
					まり編練	編練					炊テ		ン				動
					の集習	集習					飯イン		プ				画
					の会						炊飯		ファイ				確
													ヤー				認

事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等

・動画編集、発表練習

iMovieを駆使し、動画を5分程度にまとめることに取り組んだ。

まとめる上でのポイントとして、

- ①動画のつなぎ部分(トランジション)
- ②効果的なテロップ
- ③BGMの音の大きさ

等を挙げ、編集に反映するよう促した。

また、発表時のポイントとして、

- ①声の大きさ
- ②立ち位置
- ③役割分担

等を挙げ、発表に活かせるよう促した。

・簡易五徳を使つての調理体験

防災意識を高めるため、防災食作り体験(メスティンによるごはん炊き)を行った。

五徳は、アルミ缶を加工したものを使った。固形燃料入れて、どの子も上手に炊き上げることができた。



成果と課題

- 動画編集は5分程度のものとするようにしたため、各グループとも高校生ボランティアのアドバイスを受けながら、完成を目指すことができた。
- アルミ缶を加工して、五徳にすることを知り、防災時に役立たせることができた知識を得た。

様式第4号

事業報告書(1日毎) (施設 茨城県立さしま少年自然の家)

期 日	令和5年9月3日(日)																
活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
※主な活動内容や場所等を記入				発 表 前 最 終 確 認	発 表 会 開 始	発 表 会 終 了	解 散										
事業トピックス ※1日の活動中で 主な活動内容及び参加者の様子等																	
<p>・発表会開催</p> <p>キャンプの集大成として、発表会を行った。各グループ(5グループ)のテーマは、次のとおりであった。</p> <p>1班…境町のカフェについて 2班…境町のスポーツ施設について 3班…みちの駅さかいについて 4班…境町の食について 5班…境町のスポーツ施設について</p> <p>発表は、境町生涯学習課の職員や、参加者の家族・保護者等の参観の中、和やかな雰囲気で行われた。</p> <p>参観者からは、「撮影も編集もとてもよくできている。」、「境町の魅力が出されていて、行ってみたい内容だった。」等の意見をいただくことができた。</p> <p>発表後の子供たちの表情は、達成感に満ちていた。(右写真)</p>																	
   <p style="text-align: center;">魅力発信キャンプに参加した子供たち</p>																	
成果と課題	<p>○課題をもち、それを解決させるためのいろいろな手段を用い、ひとつの作品として完成させられた経験は、とても貴重なものとなった。</p> <p>○分かりやすい発表をするためのひとつの手段として、iMovieの操作方法を身に付けたことは、子供たちにとって有意義なものになった。</p> <p>○YouTubeに限定配信ではあるが、子供たちの作品を投稿したことで、達成感を高めることにつながった。</p>																